



Contents

センターの仕事：企画部

：建設 ICT 人材育成センター

：総務部

お知らせ：令和7年度研修計画

：街づくり講演会（報告）

〔センターの仕事〕 企画部

☎:0584-81-1332

✉: kikaku@gifu.crcr.or.jp

なんでも相談

センターでは、県内市町村のみなさまが行う建設業務を支援するため、建設業務に関する問い合わせ窓口として、「なんでも相談室」を設置しています。

工事の計画・発注・現場管理・完成検査、公共施設の維持管理や災害対応の支援に関すること、国の事業メニューや新技術の活用等の建設行政全般に関することなど、様々な相談に応じています。



相談例 1

✓台風の接近に伴い、管轄エリアで被災箇所およびその対応状況がわかるマップを県域統合GIS庁内システムで作成することが可能か？

⇒台風接近までに時間がない中、県域統合型GISにおいて、「受付時に、位置情報および被災状況を登録」、「受付から対応完了までのステータスをマップ上で確認」、「職員全員が情報共有（閲覧、編集）」できるように作成を支援しました。また、作業向けの簡易マニュアルの作成も行いました。

相談例 2

✓下水処理場の主ポンプ3台のうち1台に不具合が生じ、揚水能力が低下している。原因は何か？

⇒現地を確認し、「モーターの回転数不足」あるいは「ポンプの羽根の摩耗や欠損」が考えられるため、早急にメーカーに点検修理依頼するよう助言しました。（メーカーとの協議時にも臨場し支援）
また、修理中は、残る2台で対応する必要があるため、2台が確実に運転できることを確認するよう助言しました。

中期経営計画

気候変動、DX、SDGs...

近年の利益減少傾向...

建設行政を取り巻く環境の変化や課題に適切に対応していくためには、技術力向上に努め、効率的に事業を推進し、一層安定した経営基盤を確立する必要がある。

このために

現状と課題を整理し、今後の取組方針を示し、職員が共有する「中期経営計画」を策定（R6.6）

計画期間：令和6年度～10年度（5年間）

※本計画に掲げる取組みは、期待される公益法人の新たな役割と社会経済情勢の変化や技術革新等を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直します。

○经营理念

- 1 県内唯一の土木と建築部門の発注者支援機関として、技術力の向上に努め、「高度な技術」と「丁寧な対応」で「確かな信頼」を獲得し、技術支援、研修、研究など各種事業を推進します。
- 2 効率的に事業を実施するとともに、事業収支のバランスを確保し、公益財団法人として、安定した持続可能な経営を図ります。

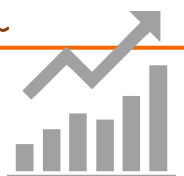
○今後の取組方針（例）

～健全な経営基盤の構築のために～

現状の組織規模における安定した経営を維持するために、

年間の受託金額 12 億円を

確保するとともに、経費節減に努める。



〔センターの仕事〕 建設 ICT 人材育成センター

☎:0584-71-7001 ✉: kensyu-tk@gifu.crcr.or.jp

建設ICT人材育成センターでは

建設ICT人材育成センターでは、県内の建設関係行政職員の技術力向上を図る研修や、建設関連企業の人材育成・確保および生産性の向上に向けた研修を実施しています。

県・市町村職員研修



建設関係行政職員を対象とした研修では、「道路政策」「都市政策」等、土木に携わる行政技術職員として必要な知識の習得や「地質調査」「測量」等、建設分野の専門知識・技術の習得を図る研修を開催しています。

初めて土木行政に携わる職員には、「土木初任者」研修や「発注・監督業務の基礎」研修等、初心者向けの基礎的事項を学べるカリキュラムを設けるほか、実践を通して学べる「災害復旧」「橋梁点検」研修や、PCの操作方法を学べる「CAD」「歩掛・積算」研修等、各種メニューを設けています。

令和6年度は、41回の研修を開催し、延べ837名の方に受講いただきました。



「武蔵 CAD(応用編)」研修

建設業担い手育成研修



建設関連企業の社員や経営者を対象とした研修は、

- 新規入職者の確保・定着
- 建設業のスキルアップ（経営力向上）
- 建設業のスキルアップ（技術力向上）
- 生産性向上に向けたICT担い手の育成

の4つのテーマに分け、ビジネスマナーから経営に係る知識のほか、建設業の基礎的知識や建設ICTの専門技術を学べる各種メニューを設けています。

令和6年度は、「建設業初任者研修」、「建設人材の育成と定着」、「工程管理」、「3次元設計データ作成」等、計41回の研修を開催し、延べ1,032名の方に受講いただきました。



「建設人材の育成と定着」研修

親子の土木見学バスツアー



県内在住の小中学生とその保護者を対象に、土木施設見学バスツアーを開催しました。例年は工事現場を見学していますが、令和6年度は岐阜県が開催した「清流の国ぎふ」文化祭2024のプログラムの一環として、人々の暮らしを支えてきた建設産業への理解を深めてもらうため、土木遺産を巡るツアーを2回開催しました。

令和6年10月19日（土）は土木遺産「美濃橋」（於：美濃市）をメインとした見学ツアーを開催し、8組20名の方にご参加いただきました。美濃橋以外にも曾代用水やうだつの上がる町並みの見学のほか、美濃和紙を使ったしおり作り体験も行いました。

令和6年11月16日（土）は土木遺産「大井ダム」（於：中津川市～恵那市）をメインとした見学ツアーを開催し、13組34名の方にご参加いただきました。大井ダム以外にも多治見市モザイクタイルミュージアムの見学やタイルを使ったフォトフレーム作り体験も行いました。

今後も、土木事業に興味を持っていただけるようなツアーを開催してまいります。



「清流の国ぎふ」文化祭 2024
～土木遺産を巡る親子バスツアー(美濃橋)～



「清流の国ぎふ」文化祭 2024
～土木遺産を巡る親子バスツアー(大井ダム)～

総務部では

総務部では「人事」「職員の給与や福利厚生」「入札や契約」「予算や決算」など、センターの運営に欠かせない裏方的な業務を担っています。今回は各種業務の中から、特徴的なものを紹介させていただきます。

DX(デジタル化)の推進

DX

令和3年4月に総務部内に、デジタル化推進室を設置し、DXを活用して業務の効率化、生産性の向上、労働環境の改善を目指すこととしました。

当時、人事管理、勤怠管理、旅費や各種手当等の申請など煩雑な事務は、手書きによる紙申請や、担当者一人でのPCへの入力を繰り返していました。まずは総務部に関わる事務についてDX化を進めれば職員も担当者も楽になると考え、優先的に進めることとしました。

人事管理、勤怠管理、旅費申請等の各システムの稼働によって削減できた時間で新たな業務に着手できるなどの効果が見られます。

また、システムのクラウド化や電子契約サービスの導入によって人的・財政的な負担を軽減することができました。最近ではイントラネットを用意したカスタムアプリを利用して業務の効率化を図っている職員も見られます。

DX化の方法はそれぞれの職場によって異なりますが、まずは利用する職員の意見を聞くことが大切です。

業務改善提案制度



こんな職場環境で働きたい。もっと効率的に業務を進めたい。日頃、皆さんも色々なアイデアをお持ちではないでしょうか。

センターでは、令和3年6月から業務改善提案制度を設けています。この提案制度の位置付けは、職員が常にセンターのことを考えることを身に付け、日常の業務を改善することで、センターならではの発想と行動力が生まれ、それが県や市町村からの受託事業に役立つのではないかと考えているからです。また、働き方改革の推進にも役立ちます。



これまで、307件の提案を受け、在宅勤務に適したシステムの構築、各種入力様式の効率化、YouTubeを利用したマニュアル作成、センター案内板の改善、作業服の変更、HPの見直しなど数多くの提案を実現しています。

入札参加資格審査システム



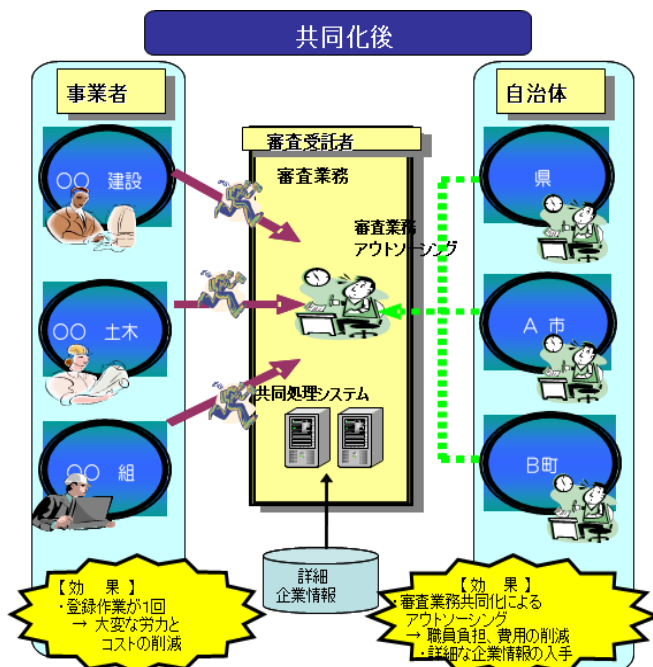
【岐阜県入札参加資格審査システムの運営】

自治体および建設事業者等の利便性向上を図るため平成19年8月から入札参加資格審査業務の共同化を開始しました。

今まで建設事業者が、名簿登載を希望する自治体それぞれに行っていた申請を、システムの操作により一括してできるようになりました。

これにより

- ① 建設事業者等の労力、コスト削減
- ② 各自治体の審査業務の効率化、省力化などが図られています。



また、このシステムにより、県内すべての自治体に24時間申請することが可能となりました。

代表者や住所などの「変更」もシステムで申請が可能です。自治体等の入札時に困らないよう各種手続きが終了後、早めの申請をお願いします。

【岐阜県入札参加資格審査システムヘルプデスク】

入札参加資格審査システムヘルプデスクは、建設事業者や自治体からのシステムの操作方法や申請の手順、必要書類などの質問にお答えしています。

＊＊お問い合わせ先＊＊

☎ 電話 0584-84-1370

✉ E-mail kyoushin@gifu.ccr.or.jp

【お知らせ】 令和7年度の研修計画

建設 ICT 人材育成センター ☎:0584-71-7001 ✉: kensyu-tk@gifu.crcr.or.jp

県・市町村技術職員研修

※計画は R7.3 時点のものであり、開催月・研修名について変更する場合があります。

| 開催月 | 研修名 | 開催月 | 研修名 | 開催月 | 研修名 |
|-----|--------------|-----|----------------|-----|---------------|
| 4月 | 土木行政初任者 | 6月 | 危機管理 | 9月 | 道路設計 |
| 4月 | AutoCAD | 6月 | 構造物の設計と管理 | 9月 | 橋梁設計 |
| 4月 | JW-CAD(基礎) | 7月 | 道路政策 | 9月 | 安全管理 |
| 4月 | JW-CAD(活用) | 7月 | 河川 | 9月 | 説明力向上【WEB】 |
| 5月 | 武蔵CAD(基礎) | 7月 | 都市政策【WEB】 | 10月 | 現場見学会(都市計画事業) |
| 5月 | 武蔵CAD(活用) | 7月 | 都市計画事業【WEB】 | 10月 | ドローン操作(第1~2回) |
| 5月 | 歩掛・積算(第1~3回) | 7月 | 下水道 | 10月 | 水中ドローン |
| 5月 | 災害復旧(第1~2回) | 7月 | 地質調査 | 10月 | 問題解決力向上 |
| 6月 | 土砂災害対策 | 8月 | 入札制度・工事検査【WEB】 | 11月 | 橋梁点検 |
| 6月 | 歩掛・積算(用地) | 8月 | 土木基礎 | 12月 | 街づくり講演会 |
| 6月 | 発注・監督業務の基礎 | 8月 | 舗装 | | |
| 6月 | 建設ICTの発注と監督 | 9月 | 測量 | | |

建設業担い手育成研修

| 開催月 | 研修名 | 開催月 | 研修名 | 開催月 | 研修名 |
|-----|-------------------|-----|------------------|-----|-----------------------|
| 5月 | 建設業初任者(ビジネスマナー他) | 6月 | 3次元設計データ作成(飛騨) | 8月 | 原価管理【WEB】 |
| 5月 | 建設業初任者(建設分野) | 6月 | 文章力向上【WEB】 | 8月 | 企業の魅力発信 |
| 5月 | OJT研修【WEB】 | 6月 | 工事書類作成基礎【WEB】 | 9月 | ICTによる現場業務効率化【WEB】 |
| 5月 | ドローン操作実習(初級)1 | 7月 | 建設ICT普及研修 | 9月 | 3次元測量 |
| 5月 | ドローン操作実習(初級)2 | 7月 | 3次元設計データ作成(中濃) | 9月 | 品質管理【WEB】 |
| 5月 | ドローン関連法規【WEB】 | 7月 | BIM/CIM | 9月 | 工事成績評定アップ【WEB】 |
| 5月 | 3次元設計データ作成(岐阜西濃1) | 7月 | 設計品質向上【WEB】 | 9月 | 安全管理 |
| 5月 | 現場管理基礎【WEB】 | 7月 | 施工計画力向上【WEB】 | 9月 | 働き方改革【WEB】 |
| 5月 | コミュニケーション基礎 | 7月 | 交渉能力向上【WEB】 | 10月 | NEW 女性活躍(女性技術者向け) |
| 6月 | ICT土エー括 | 7月 | 人材育成・定着1 | 10月 | 女性活躍(経営者向け) |
| 6月 | PC研修 建設DXの実践 | 7月 | 人材育成・定着2 | 10月 | 外国人材雇用・育成【会場・WEB】 |
| 6月 | 3次元設計データ作成(岐阜西濃2) | 8月 | PC研修 建設業のDX【WEB】 | 未定 | 伴走支援型建設ICT活用研修(県内5圏域) |
| 6月 | 3次元設計データ作成(東濃) | 8月 | 工程管理【WEB】 | | |

【お知らせ】 街づくり講演会 開催しました

建設 ICT 人材育成センター ☎:0584-71-7001

令和6年12月19日(木)、ぎふメディアコスモスにおいて、岐阜県都市計画協会との共催で「街づくり講演会」を開催し、73名の方にご聴講いただきました。

第1部では、NPO法人レスキューストックヤード代表理事の栗田暢之様より、「災害大国における命と暮らしを守るまちづくり・人づくり～能登半島地震ほか過去の災害現場の実態から～」と題して、ボランティア活動を通じて実感した被災地支援と復興に向けた官民連携の重要性について、ご講演いただきました。

また、第2部では、岐阜県弁護士会災害対策委員会副委員長・防災士の杉村鎮右様より、「被災者支援を活用して力強い復興の第一歩を～早期の暮らしの立て直しはまちづくりの担い手を守る～」と題して能登半島地震の

復興に向けた公費解体の課題や弁護士としての被災者支援についてご講演いただき、最後に講演者お二人に「防災に強い街づくり」についてご対談いただきました。

参加者からは、「実際の体験に基づいた貴重な話を聞くことができ、参考になった」「事前復興計画が重要であることを再認識できた」といった感想をいただきました。



編集・発行 公益財団法人 岐阜県建設研究センター担当 : 企画部 北神・河村
TEL 0584-81-1332 FAX 0584-81-1352 <https://www.gifu.crcr.or.jp>

